

# 目の健康

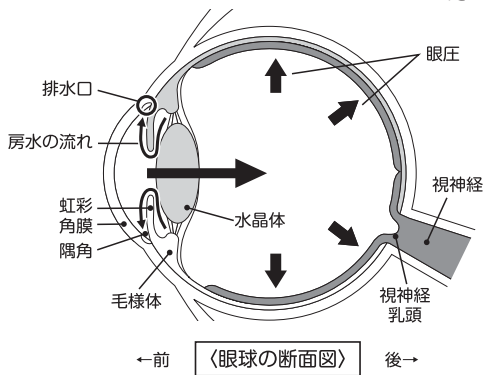
## 定期受診で眼圧を管理

緑内障は眼圧が大きく関係します。今回は眼圧についてお話しします。

眼球が丸い形で保たれるのは、眼内の水（房水）によるからです。この膨らむ力を眼圧といいます。眼圧がゼロでは眼球がしわくちやにつぶれて

ので排水口へ水が流れ込みにくく、水が溜まって眼圧が上がります。

眼圧は、血圧と同じ単位で表され、21mmHg以上は高眼圧です。正常値は9—21mmHgとされています。一日の中でも5mmHgほど変動し、朝方が一番高くなり



しまいます。房水は、腐らないように絶えず入れ替わっています。

虹彩の裏側にある毛様体からしみ出てきた房水は、水晶体の前を通って虹彩の表側へ達したあと、虹彩と角膜がつながる隅角の排水口へ流れ込んで回収されていきます。房水がしみ出てくる量と回収される量のバランスで眼圧が変わります。例えば、隅角が狭い人は排水口の手前が狭い

緑内障患者さんは眼圧が毎回ばらばらの人が多いと感じます。緑内障診療の基本は、『眼圧の管理』となります。定期的な受診と管理が大切です。

宇井 理人 先生

プロフィール

北里大学北里研究所病院

宮久保眼科非常勤医師

<専門>緑内障、眼科一般

